

中京大都市圏づくり



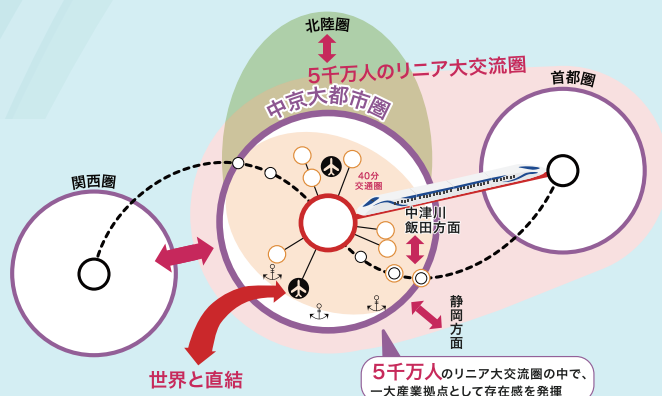
中京大都市圏づくりとは

リニア中央新幹線の全線開業により、三大都市圏が約1時間で結ばれて一体化し、多様な自然や文化を有する地域を内包する、世界に類を見ない魅力的な経済集積圏である日本中央回廊の形成が期待されます。

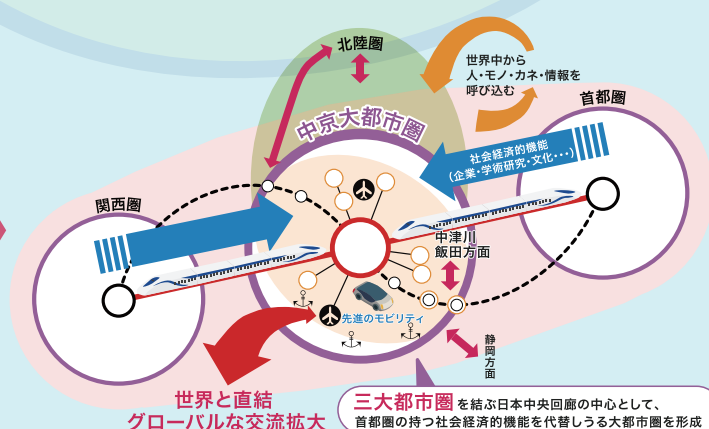
その中心に位置する愛知県では、名古屋を中心としたおおむね80～100km圏を「中京大都市圏」と位置付け、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、この地域の多様な魅力を発信しながら、国内外からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、名実ともに日本中央回廊の中心として、首都圏の持つ社会経済的な機能を代替しうる大都市圏づくりを進めていきます。



リニア中央新幹線 東京・名古屋間 開業後



リニア中央新幹線 全線(東京・大阪間)開業後



中京大都市圏のポテンシャル

リニア大交流圏の中心

一国に相当する活力

日本の真ん中に位置する中部国際空港

日本の黒字を稼ぐ国際貿易港

日本の成長エンジン「中京大都市圏」

中部圏に広がる多様な魅力

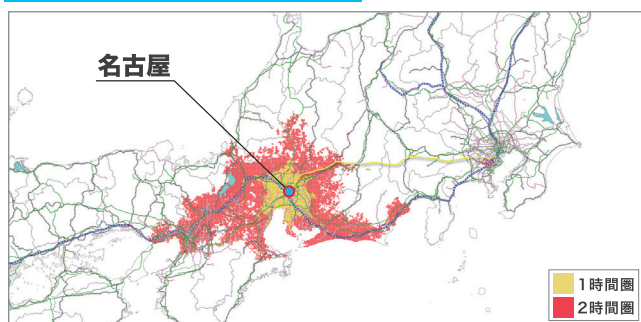


リニア大交流圏の中心

リニア中央新幹線の開業により、中京大都市圏の玄関口である名古屋駅を起点とした2時間交流圏人口(鉄道+道路)(注)は大幅に増加し、中京大都市圏は、リニア時代における大交流圏の中心地としての役割を担うことが期待されます。

◆ 現状の時間圏 (名古屋起点、鉄道+道路)

2時間交流圏人口: 2,993万人

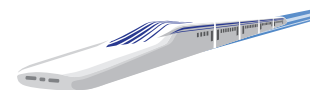
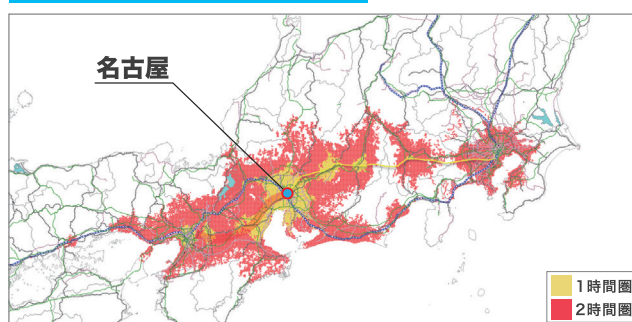


(注)

- ・名古屋駅を起点とした鉄道と道路でアクセスできる時間圏
- ・鉄道または道路で到達可能な3次メッシュ(約1km四方)の人口を集計
- ・リニア・鉄道から自動車への乗換えはリニア駅と東海道・山陽新幹線の“のぞみ”と“ひかり”の停車駅のみ考慮した。
- ・乗換時間(最終降車駅から自動車、リニアと在来線または自動車)は各10分と設定。
- ・人口は平成22年国勢調査に基づく。
- ・名古屋駅から各リニア駅までの所要時間については、岐阜県「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」(H26.3)を参考に、名古屋駅以西は距離案分をして以下の値を用いた。
岐阜県駅:13分、長野県駅:23分、山梨県駅:40分、神奈川県駅:59分、品川駅:40分、三重県駅:11分、奈良県駅:23分、新大阪駅18分

◆ リニア全線開業時の時間圏 (名古屋起点、鉄道+道路)

2時間交流圏人口: 6,428万人



(出典)三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成資料

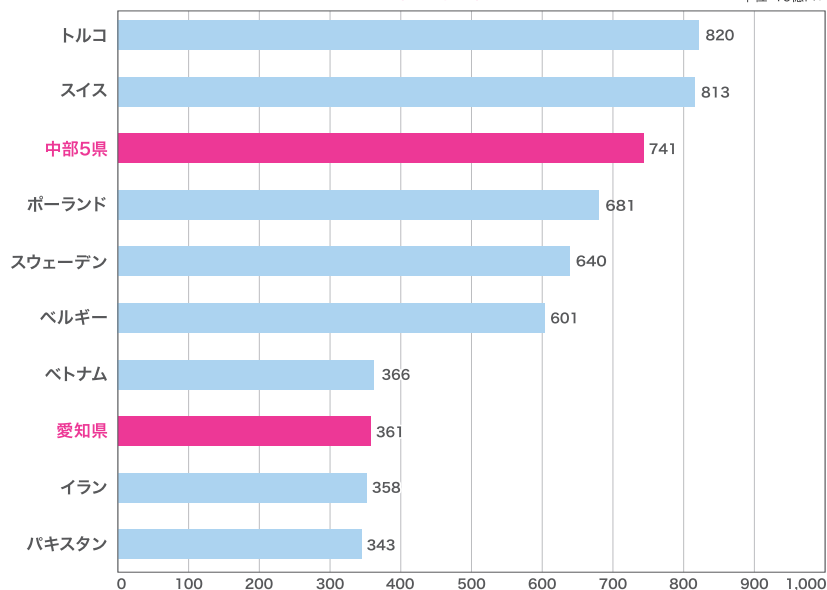
一国に相当する活力

中京大都市圏をエリアに含む中部5県(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県)は、圏域の経済規模(GDP)がポーランドを上回り、ヨーロッパの一国に相当する活力を有しています。

圏域の産業を牽引しているのは、圧倒的な産業集積を誇る製造業で、製造品出荷額等は我が国の4分の1を占めています。

◆ GDP(名目)の世界との比較 (2021年(注))

単位: 10億ドル



(注) 愛知県と中部5県は年度計、東京外国為替市場におけるインターバンク直物中心相場の2021年度月平均値の12か月単純平均を用いて換算(1ドル=112.35円)。他国は暦年計。

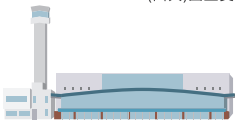
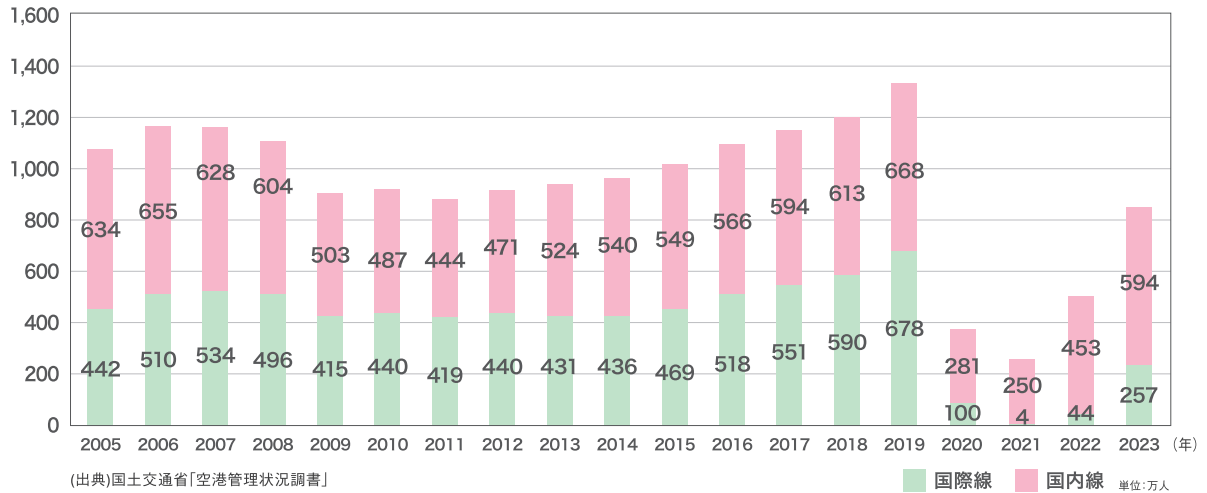
(出典) 内閣府「県民経済計算」、総務省統計局「世界の統計」

日本の真ん中に位置する中部国際空港

中京大都市圏と国内外を結ぶ国際拠点空港である中部国際空港は、コロナ禍前の2020年1月には過去最高の、国外42都市(482便/週)、国内19都市(97便/日)を結んでいました。コロナ禍で大幅に減便しましたが、2025年1月1日現在は、国外24都市(326便/週)、国内21都市(86便/日)まで回復しています。



◆乗降客数の推移

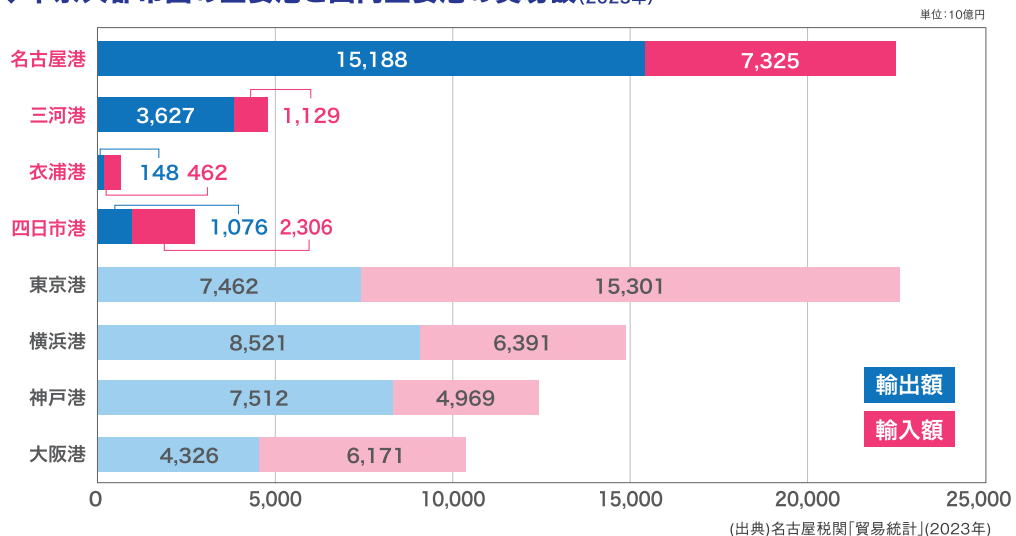


日本の黒字を稼ぐ国際貿易港

中京大都市圏の主要港(名古屋港、三河港、衣浦港、四日市港)の輸出額は、我が国全体の約3割を占め、貿易収支は約9兆円の黒字となっています。とりわけ、名古屋港は、輸出額・取扱貨物量ともに国内有数の国際貿易港です。



◆中京大都市圏の主要港と国内主要港の貿易額(2023年)

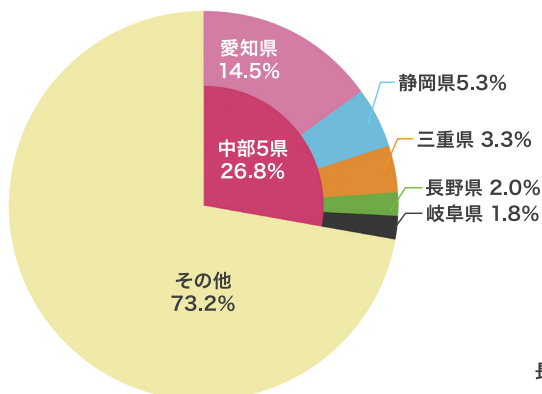


日本の成長エンジン「中京大都市圏」

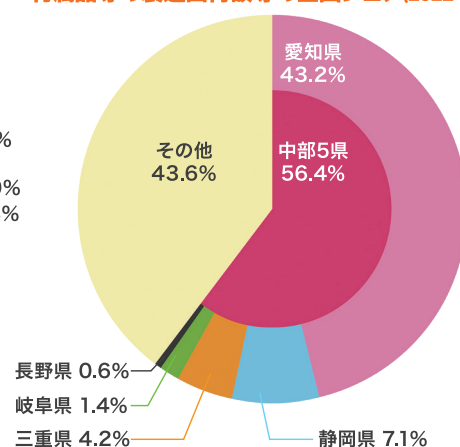
中京大都市圏には、自動車産業を始め、工作機械、鉄鋼や、繊維等の地場産業まで幅広いモノづくり産業が集積しています。

中部5県の製造品出荷額等の全国におけるシェアは約3割。特に部品生産も含めた自動車製造業の製造品出荷額等については約6割となっており、日本の成長エンジンとしての役割をしっかりと果たしていきます。

◆製造品出荷額等の全国シェア(2022年)



◆自動車製造(二輪自動車含む)、部品・付属品等の製造品出荷額等の全国シェア(2022年)



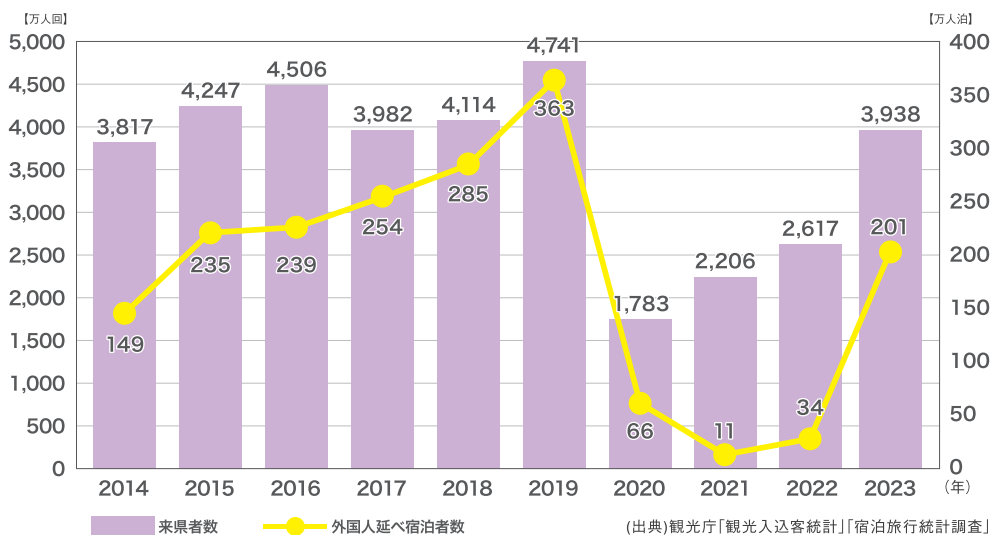
(出典)経済産業省「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」(2023年)

中部圏に広がる多様な魅力

愛知県を始めとした中部地域は、自然、歴史・文化、産業、グルメ、スポーツなど、日本の魅力が凝縮されています。

愛知ならではの魅力を活かした観光を推進するとともに、国内旅行者はもとより、アジア諸国を始めとした訪日外国人旅行者の呼び込みを一層強化し、地域活性化を推進していきます。

◆来県者数と外国人延べ宿泊者数の推移



中京大都市圏の主要な政策

～日本中央回廊の中心を担う中京大都市圏づくり～

愛知県は、2020年11月に策定した「あいちビジョン2030」に沿い、「中京大都市圏の拠点性の向上」を始め、「世界とつながるグローバルネットワークづくり」、「イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり」、「選ばれる魅力的な地域づくり」などの取組を進めています。

また、経済面、社会面、環境面の調和のとれた、活力と持続力を兼ね備えた大都市圏を目指すことで、SDGs（持続可能な開発目標）達成に貢献していきます。

中 京大都市圏の拠点性の向上

世 界とつながるグローバルネットワークづくり

イ ノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

選 ばれる魅力的な地域づくり

中京大都市圏の拠点性の向上

国内外からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、活発な交流を促進するため、圏域内の総合的な交通ネットワークを充実するとともに、世界との直結性を高め、アジアの大都市圏との競争に負けないインフラ環境の整備を進めています。また、名古屋都心部への高次都市機能の集積を図るとともに、圏域内の主要都市において、地域の特色を生かした機能集積を図っています。

リニア中央新幹線の整備促進

東京・名古屋間を時速500km、約40分で結ぶリニア中央新幹線は、早期開業に向けて、名古屋駅を始め、愛知県内においても本格的な工事が進められています。愛知県では、着実に事業が進むよう、国・関係機関への働きかけや事業推進に必要な調整を行っています。

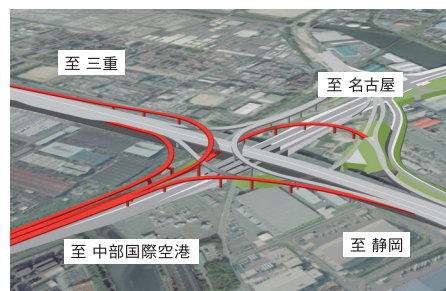


リニア中央新幹線（L0系改良型試験車）
©Central Japan Railway Company All rights reserved.

主要幹線道路網の整備

中部国際空港と新東名高速道路を直結するとともに、名古屋高速道路を経由して、リニア中央新幹線の名古屋駅とも繋がる西知多道路の整備を進めています。

また、県境を越えた広域連携の軸となる三遠南信自動車道の整備や本県の主要な東西軸となる名豊道路の4車線化を加速するとともに、名岐道路並びに浜松湖西豊橋道路の早期実現に向けた取組を進めています。



西知多道路の整備 東海JCT(完成イメージ)

港湾の機能強化

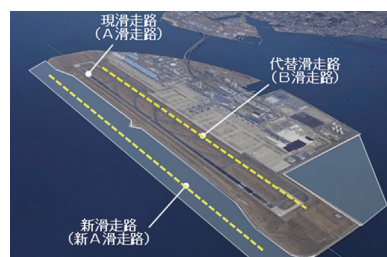


名古屋港飛鳥ふ頭（将来バース図）
©名古屋港管理組合

名古屋港、衣浦港、三河港は、モノづくりが盛んな中部地域と世界を結ぶ海のゲートウェイであり、今後も日本の経済・産業をリードする基盤として、コンテナ、完成自動車、バルク貨物などを円滑に取り扱えるよう、機能強化を図っています。

『中部国際空港の将来構想』の早期実現

『中部国際空港の将来構想』の早期実現に向けては、地域が一丸となって、国への働きかけを行うとともに、エアポートセールスやインバウンド旅客の誘致等を実施するなど、航空ネットワークの拡充と航空需要の拡大を図っています。



『中部国際空港の将来構想』に沿った第二滑走路の整備

名古屋駅のスーパーターミナル化と名古屋駅周辺まちづくり



名古屋駅（東側駅前広場）の整備イメージ
©city of nagoya

リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅周辺では、民間事業者による再開発が進んでいます。愛知県では、名古屋市や民間事業者等と連携し、中京大都市圏の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化や、名古屋駅周辺のまちづくりを始め、名古屋都心部の高次都市機能の集積を図る取組を進めています。

世界とつながるグローバルネットワークづくり

この地域の強みである圧倒的な産業集積を生かしながら、世界に開かれた大都市圏として発展していくため、海外から企業や人材を呼び込み、活発な交流を促進していくとともに、愛知に住む外国人が安心して暮らせるよう、魅力ある環境づくりを進めています。

海外との パートナーシップの構築

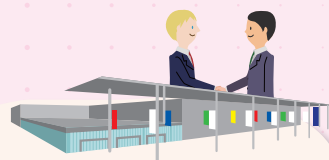


愛知県では、グローバルな経済・社会の動きに的確に対応していくため、友好提携や経済連携などを結んだ国や地方政府との間で、幅広い分野での交流を進めています。また、今後成長が見込まれ、互いの地域特性を活かすことのできる国や地域との新たなパートナーシップの構築に向けた検討を進めています。



オーストラリア・ビクトリア州総督との面談

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)の活用



2019年、空港島に、日本初の国際空港直結型で、延床面積約9万㎡の「Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)」が開業しました。

この展示場で、産業展をはじめ様々な分野の展示会やイベントなどが開催されています。国際的な催事誘致に努め、空港島やその周辺地域が、新たな交流、賑わい、集客の拠点となるよう取り組んでいます。

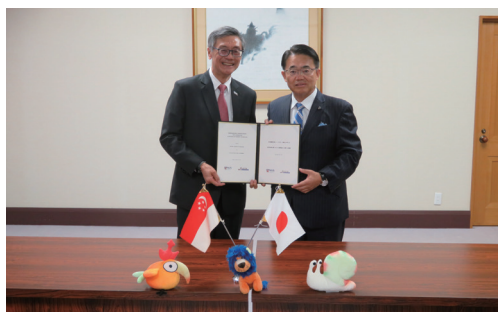


Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)

海外の大学等との 連携・協力関係の構築



グローバル化やデジタル化に対応した産業の革新・創造拠点の形成のため、シンガポール国立大学やアメリカ・テキサス大学オースティン校など、連携・協力関係にある大学等との人材交流や技術交流を深化させていくとともに、新たな連携・協力関係の構築に向けた検討を進めています。



シンガポール国立大学との科学技術分野における連携協力に関する覚書の締結

県内企業の海外展開や 販路開拓への支援

競争が激しさを増すアジアを始めとするグローバル市場を、県内企業が獲得するため、国際ビジネスに関するワンストップサービス拠点において、愛知県と関係機関が相互に連携して、経済・産業、投資環境等に関する情報提供、相談対応など、海外展開への意欲のある県内企業等に対して幅広い支援を実施していきます。



インドIT・デジタル分野の最新動向と人材活用セミナーの様子

イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり

中京大都市圏が、次々とイノベーションを起こす、世界一の産業の革新・創造拠点となることを目指して、次世代自動車や航空宇宙、ロボットの分野を始め、健康長寿、環境・新エネルギーなど、幅広く産業集積を進めていくとともに、スタートアップ支援や産業人材の育成に取り組んでいます。



STATION Aiを中核とした 戦略的なスタートアップの創出・育成

2024年10月にオープンした日本最大のスタートアップ支援拠点 STATION Aiでは、スタートアップを創出・育成するとともに、オープンイノベーションを通じた事業会社との協働など、付加価値を次々と創出し、愛知独自のグローバルなスタートアップ・エコシステムの形成を推進していきます。



STATION Ai 内観

国際的な 技能競技大会の開催

「2028年技能五輪国際大会」を日本・愛知で開催します。技能五輪国際大会は、2年に一度、世界各国・地域から集まった青年技能者（原則22歳以下）が、様々な職種で職業技能を競う世界最大の技能競技大会です。

本大会の開催は、子ども達がモノづくりへの関心を高め、次代を担う若者にとって大きな目標となるとともに、我が国における技能尊重気運の醸成を推進し、産業首都あいちを世界に発信する上で、極めて意義のある大会です。

厚生労働省等とともに開催準備に取り組んでいます。



2028年技能五輪国際大会ロゴマーク

航空宇宙産業の振興

国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の優遇措置の活用や販路拡大、人材育成、企業立地、研究開発、実証実験の支援などにより、本県への航空宇宙分野の企業の集積や航空機生産機能の拡大・強化を図っていきます。



H3ロケット (©JAXA)

自動車産業の振興

CASEやカーボンニュートラル実現など100年に一度の大変革期に、次世代自動車分野や新規事業領域に挑戦するサプライヤーの支援を行うとともに、自動車産業を基幹産業とする愛知県において、STATION Aiと名古屋駅を結ぶ自動運転車両の定期運行や各種実証実験、企業・大学等と市町村とのマッチング等により、イノベーションを誘発し、オールあいちで自動運転の社会実装や、自動運転技術を活用した新しいモビリティサービスの実現を目指していきます。



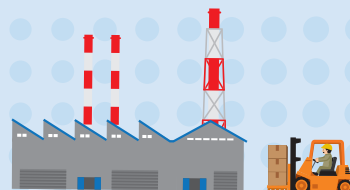
名古屋市内での自動運転車両の定期運行

ロボット産業の振興

産学行政が参画する「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核として、新たな技術・製品の創出や実用化の促進とともに、先導的プロジェクトによる事業化支援やロボットの開発・実装を担う人材創出を柱に据えたロボット産業振興施策に取り組み、ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地の形成を目指していきます。



サービスロボットの実証実験



運 ばれる魅力的な地域づくり

国内外から人を惹きつける大都市圏の実現に向け、文化芸術の国際的なイベントの開催、国際的・全国的なスポーツ大会の招致・開催、武将観光・産業観光の推進、伝統文化・食文化等のPR、愛知の「住みやすさ」のPRなどに取り組んでいます。

国際的・全国的な スポーツ大会の招致・開催

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)

2026年9月に「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)」を開催します。アジア競技大会は、4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典であり、東京2020大会の理念を受け継ぎ、レガシーとして確立していく重要な役割を担います。また、成長著しいアジアとの交流を一層深める機会となるなど、日本全体の成長に貢献する大変意義のある大会です。



第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)

2026年10月に日本で初めて開催する「第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)」は、アジア地域におけるパラスポーツの総合競技大会です。

本大会の開催は、スポーツを通じた人づくりや障害のある方の社会参加の促進、交流人口の拡大など、様々な社会課題を解決し、社会の変容につなげていく好機であり、多様性を尊重し合う共生社会の実現に貢献する、極めて重要な社会的意義を有しています。

大会の成功に向けて、名古屋市とともに開催準備に全力で取り組んでいます。



愛知発の文化芸術の育成・発信

国際芸術祭「あいち2025」は、国内最大規模の国際芸術祭の一つであり、国内外から多数のアーティストが参加します。現代美術を基軸にパフォーミングアーツ、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断し、最先端の芸術を「あいち」から発信します。



国際芸術祭「あいち2025」キービジュアル
©五十嵐大介



ジブリパークを活用した 圏域全体のプロモーションの展開

愛知万博の理念と成果を次世代に継承するため、愛・地球博記念公園内(長久手市)に、スタジオジブリ作品の世界観を表現した唯一無二の公園施設「ジブリパーク」(全5エリア)を整備しました。国内外からの多くの来園者に愛される公園を目指すとともに、圏域全体のプロモーションの展開に取り組んでいます。



© Studio Ghibli ジブリパーク「ジブリの大倉庫」

IGアリーナ(愛知国際アリーナ)の 整備・運営等事業

半世紀年以上の長きにわたり、県民に親しまれてきた愛知県体育館の伝統を継承する新体育館について、「第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)」・「第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)」を始めとしたスポーツの国際大会や全国大会、全国レベルのコンサート、イベント、コンベンション等の拠点として、愛知・名古屋のシンボルとなる世界でもトップレベルのアリーナをめざし、2025年7月のグランドオープンに向け整備を推進しています。



IGアリーナ(愛知国際アリーナ)イメージ図
©AIA Corporation

中京大都市圏 プロジェクトマップ



滋賀県

三重県

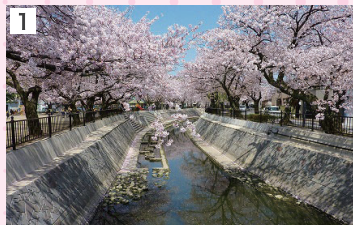
中京大都市圏づくりの主な広域プロジェクト

- ⑨ 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)
- ⑩ 第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)
- ⑪ 矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト
- ⑫ 愛知県水素ステーション整備・配置(県内に34か所(整備中も含む))
- ⑬ リニア中央新幹線の整備促進
- ⑭ 国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」

表示エリア







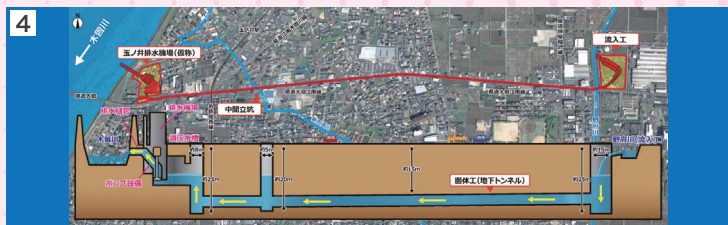
1 新濃尾地区農地防災事業



2 木曽川用水濃尾第二施設
改築事業



3 尾張西部地区施設機能
保全事業



4 日光川2号放水路大規模特定河川事業



5 STATION Ai



6 小幡緑地「オバタベッタ」
Park-PFIによる民間活力
の導入



7 国際芸術祭「あいち2025」
(愛知芸術文化センター、愛知県
陶磁美術館、瀬戸市のまちなか)
©五十嵐大介



8 IGアリーナ(愛知国際ア
リーナ)の整備・運営等事業

©AIA Corporation



9 第20回アジア競技大会
(2026/愛知・名古屋)



10 第5回アジアパラ競技大会
(2026/愛知・名古屋)



11 2028年技能五輪国際大会



12 愛知県畜産総合センター
種鶏場

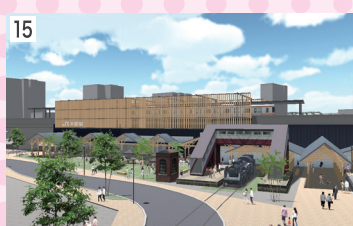


13 ジブリパーク

© Studio Ghibli



14 名鉄名古屋本線・三河線
(知立駅付近)連続立体交
差事業



15 J R 武豊線半田駅付近
連続立体交差事業



16 PFIによる県営住宅の建替
事業(平針、鳴海、大森向、
清水、東高森台、上和田)



17 西知多道路
(東海市～常滑市)





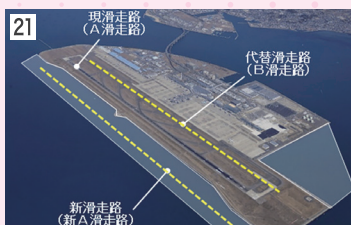
18 名岐道路(名古屋高速道路一宮東出口～一宮木曽川IC)



19 矢作川総合第二期地区農地防災事業



20 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)



21 『中部国際空港の将来構想』に沿った第二滑走路の整備



22 三河港の機能強化



23 豊川用水二期事業



24 三遠南信自動車道 東栄IC～鳳来峡IC (浜松河川国道事務所提供)



25 設案ダム建設事業



26 FIA世界ラリー選手権 ラリージャパン



© Rally Japan



27 矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト



28 愛知県水素ステーション整備・配置(県内に34か所(整備中も含む))



29 リニア中央新幹線の整備促進
リニア中央新幹線(L0系改良型試験車)
(©Central Japan Railway Company
All rights reserved.)



30 国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」





愛知県政策企画局企画調整部企画課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL.052-954-6472

中京大都市圏づくりポータルサイト

<https://www.pref.aichi.jp/kikaku/chukyodaitosiken/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



発行：2025年3月